



第1回

随筆文

日 分 分
月 時 時

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

リクオが片言で話しかけたところは確かに「ブーブー」とか「ニャーニャー」とか、若干の幼児語で受け答えはした。しかし基本的にこちらはこちらのことで、相手を一人前に扱って話したほうがいいと思った。コドモのボキャブラリーでつきあうほうがよほどたいへんなのだ。

おもしろいもので、「そんなことしちゃ失礼でしょ！」などとビシヤリと言うときに、「シツレーってなに？」とまぬけにききかえしたりはしない。こちらの表情をみてシユンとなり、言っていることの意味はわかっているようだ。あとで「トーマスったらシツレーじゃない」とオモチャ相手に勝手な使い方をしていることもある。

コドモがしゃべり出すとすっかりそのことばのおもしろさに目がいつてしまいが、それはコドモがことばの上だけではない、原始的な表現をまだ合わせもっているからだだろう。会話だけでやりとりできるなんてのは、便利そうにみえて実はちよつとつまらない。人に伝えたい「もの」には本来、表情だとか空気だとかぬくもりだとかがある。

リクオが眠そうにふとんの中で指をチユバチユバしているときに「おやすみなさい」と私が言ったら、彼はそう答えずに、「またおはよーって言おうね。よく寝たねーって言おうね」と返事をした。「おやすみ」よりもずっと、あしたの朝が楽しみになった。

注1 若干…少し

注2 ボキャブラリー…あるまじまりをもった語の集まり

(1) 線①「ブーブー」とか「ニャーニャー」のような言葉を筆者は何と言っていますか。三字で答えなさい。

()

(2) 線②「原始的な表現」を説明した次の文の () にあてはまる言葉を答えなさい。

() ① 以上に () ② や空気や () ③ を感じられ、心が引きつけられる表現

() ④ () ⑤ () ⑥ () ⑦ () ⑧ () ⑨ () ⑩

(3) 線③「原始的な表現」をしたリクオの言葉を答えなさい。

()

(4) 「コドモのことば」がおもしろいのは、どうしてですか。四十字以内で答えなさい。

()



級

第1回

説明文

日 分
月 時 分

二 次 の 文 章 を 読 ん で 、 あ と の 問 い に 答 え な さ い 。

△ひとりたび▽という言葉に、ほくらは無条件に△がれを託し過ぎてはいないだろうか。あまりに甘くもたれかかりすぎてはいないだろうか——。そんな反省がいまほくの中にふと生まれている。

△ひとりたび▽という言葉は、△ひとり▽という語と△たび▽という語の結合によって成り立っている。この場合、より大きなウエイトをしめるのは、いうまでもなく△たび▽である。△ひとり▽は△たび▽を限定し、修飾している。

△ひとりたび▽という言葉に、ほくらが知らず知らずのうちに言いようもない△がれを感じてしまうのはなぜか。それは、日常の生活の場から離れる△たび▽という行為と、疑似的な連帯や形だけのつながりを捨て去った△ひとり▽という状態とが、いわば劇的にそこで出会っているからだろう。言葉をわけて考えてみればその出会いの持つ意味がはっきりするにちがいない。△たび▽とは、いつもとは違う別の空間に出かけていくことだが、特に最近のように△旅行▽という形でこれが普及してしまつと、そこに生まれるのはせいぜいふつうの楽しさと交通機関の混雑くらいでしかない。

△ひとり▽とは、一般的にいえば周囲に自分とかかわりあいのある人間のない状態をさすのであろう。そうだとすれば、これも珍しい状態でもない。満員電車の中で△ひとり▽になる人もいれば、団地の遊園地で△ひとり▽を感じる人もある。

しかし、どちらもそう珍しくも特殊でもない△ひとり▽と△たび▽とが一度結びつくと、いわば①相互純化作用とも呼べるような現象がおこって、△たび▽は新しい空間に向けてただひたすらに分け入っていく可能性に満ち

た行為となり、△ひとり▽は周囲から雑音を消し去って自己と向き合う澄み切った心理的状态となる。つまり、△ひとりたび▽とは、現代を生きる人々の内にある精神の飢えに応える純粋行為のようなものになるのである。

しかし、△ひとりたび▽とは、昔からそのようなに好ましい行いだっただけであろうか。交通機関も未発達、治安状態もあまり良くはない過去においては、△たび▽自身が常に危険をはらんだものだったろう。②そんな時代には、△ひとりたび▽とは決して実行してはならない無謀な行為であり、反道徳的な行為でさえあつたかもしれない。

「旅は道連れ、**A**」とか、「**B**には旅をさせよ」とかいう時の△旅▽という語には、危険を前提とした精神の緊張が感じられる。

こんなに多くの方が△ひま▽をもてあまし、われもわれもと旅立ちたがっている時代においては、むしろ野蛮で危険にみち、死ぬほど退屈で淋しい本来の△ひとりたび▽こそが求められるべきではなからうか。

注1 ウエイト：重さ・重要さ

注2 疑似的な連帯：うわべだけの結びつき

(1) △ひとりたび▽という言葉に、わたしたちは何を感じていると筆者は述べていますか。十五字以内で答えなさい。

(2) (1)のように感じているのは、なぜですか。次の言葉に続くように、文中の言葉を用いて説明しなさい。

△たび▽という行為と、△ひとり▽という状態とが

(3) \wedge たび \vee と \wedge ひとり \vee という言葉について、文中の言葉を用いてそれぞれ説明しなさい。

・ \wedge たび \vee

()

・ \wedge ひとり \vee

()

(5) —線②「そんな時代」とは、どんな時代ですか。

()

(6) \boxed{A} ・ \boxed{B} にあてはまる言葉を入れて、ことわざを完成させなさい。

()

B ()

A ()

()

()

(4) —線①「相互純化作用」とでも呼べるような現象」について、次の問いに答えなさい。

1 この現象はどんなときにおこりますか。次の文の $\boxed{\quad}$ にあてはまる言葉を十五字以内で答えなさい。

\wedge たび \vee と \wedge ひとり \vee というような、どちらも $\boxed{\quad}$ 言葉が出会って結びついたとき。

()

()

(7) 筆者が、今の時代、多くの人々に必要だと考える「本来の \wedge ひとりたび \vee 」には、どのようなものが感じられるのですか。五字以内で答えなさい。

()

()

2 この現象がおこったとき、 \wedge ひとりたび \vee は、どのようなものになるのですか。説明しなさい。

()

()



第1回

物語文

日 分
月 時 時

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「このあたりから、こわそうか。」と、若い父親が息子に言った。「①おまえもすっかりつるはしをふるえ。」「ああ、がんばるよ。早いとこ、花の種まきたいもん。」と、息子は自分の背だけに近いつるはしを持ちなおしてりきんでみせた。若い父親は、がっちりした腕に力をこめて、つるはしをふりおろした。すると音がして、コンクリートが飛び散った。

「その調子、その調子。」若い父親が励ますように言って、調子をとって、つるはしをふりおろし続けた。庭のかたすみから、コンクリートがはがされていった。その一家は、引越してきたばかりだったが、引越越し荷物の後かたづけもそこそこに、庭づくりを始めたのだった。草花好きの母さんのために、まず、花の種をまく土地づくりから始めようというわけらしかった。小さくてもせまくても、とにかく自分の家になるものだったから、②前の住み手がいそいで作っていた車庫がわりの場所のコンクリートこわしを始めたのだった。

頭の上で、するどい音、にぶい音が聞こえ始め、③そいつは、あきらめて眠りこんでしまった目を、ゆっくりとあけてみた。体が音を聞いている。音はすこしずつ、真上に近づいてくるようだった。

「さ、ほとんどこわしたぞ。あとはコンクリートのかけらを運び出すだけだ。」若い父親は、ふらふらになりながら、まだ④つるはしをふりあげ、ふりおろし（やっとのこと）で立っているみたいにも見えたが……）している息子に、やさしく声をかけた。「あとは、とうさんがやるから、おまえはひと休みしなさい。」⑤そうさせてもらう。息子は一人前にいばって言った。

「土の色はいいねえ。」若い父親がうれしそうに言って、コンクリートの下

にひろがっていた黒い土をすくいあげた。いい土だ。よく、肥えてる。もつたいなことをしてたんだよなあ……言いながら、せつせと、コンクリートのかけらかたづけを続けた。

そいつは、自分のもぐりこんだところに、そつと鼻先を出した。まぶしい、明るい……と鼻が感じ、小さくくしゃみをした。それから一気にするりと

A の上にはいだした。

「あ、へび」息子が驚いてさげんだ。「めずらしいな。」「きれいだねえ。」息子はほんとに感心して言った。そいつは、息子と若い父親のほうをちらと見た。それからゆっくりとタンポポの芽ばえているあいだにはいりこんで行った。春の日がそいつの体を⑥小さな小さな流れの色に光らせた。

(1) 線①「おまえもすっかりつるはしをふるえ」と言ったのは、だれですか。

(2) 線③「そいつ」とは、何を指していますか。

(3) 線④「つるはしをふりあげ」ているのは、だれですか。

() ()

() ()

() ()

(4) 線⑤「そうさせてもらう」の「そう」とは、何を指していますか。五字以内で答えなさい。

()

(5) A にあてはまる言葉を漢字一字で答えなさい。

()

(6) 線②「前の住み手がいそいで作っていた車庫がわりの場所のコンクリートこわしを始めた」のは、どうしてですか。その理由を「いから」に続くように四十字以内で答えなさい。

() から。

(7) 線⑥「小さな小さな流れの色に光らせた」とは、「そいつ」のどんな様子を表していますか。四十字以内で答えなさい。

()

(8) 次の文は、この物語について解説したものです。次の文の () にあてはまる言葉を、それぞれ漢字二字で答えなさい。

この文章のおもしろさは、途中で場面が変わることによって、(A) と (B) が対照的に描かれていることです。

そして、(A) に出ると、そいつは父親と息子に見られ、客観的な存在として描かれて終わっています。これはそいつにとって、冬眠からのめざめであり、物語は季節がめぐるのにあわせて展開する (C) の世界の、ひとつのドラマをとらえています。

(A) () (B) () (C) ()